国連CEFACT標準技術研修計画

**＜2020年度事業活動方針＞**

SIPS主導で進めてきた国連CEFACTメッセージ構築ガイドラインをベースに、実装に役立つ情報／ツールの提供と導入スキルの普及に努め、国内への国連CEFACT標準の適用を推進する。

**＜国連CEFACT標準の有料技術研修＞**

SIPS会員企業のSEを対象に、要望（5人以上）があれば、以下の項目を含む有料技術研修（オンライン研修）を実施する。SIPS幹事会員は無料、正会員は1名まで無料とする。

**＜研修プログラム（案）＞**

研修第1章　国連CEFACT標準（1.0 Day）

* 国連CEFACT体制と標準体系

研修第2章　業界横断EDI仕様（0.5 Day）

* 業界横断EDI仕様の策定と管理
* 業界横断EDIレジストリ
* ツールの機能（バリデーション、クラス図）

研修第3章　ユーザー・メッセージ設計実習（1.0 Day）

* メッセージ設計ツールの導入
* メッセージのフレームワーク
* 設計演習

研修第４章　XMLメッセージ導入演習（0.5 Day）

* 国連CEFACT標準メッセージ
* ユーザー・メッセージ

**＜研修スケジュール（案）＞**



研修第1章　国連CEFACT標準概要

1. 国連CEFACTの組織

1.1 国連組織の中のCEFACT

* 国連経済社会理事会（ECOSOC）
* 欧州経済社会委員会（ECE）

1.2 国連CEFACT日本委員会

* 日本委員会組織（JEC）
* サプライチェーン情報基盤研究会（SIPS）

2. 標準とガイドライン

2.1 勧告（Recommendation）

2.2 白書（White Paper）

2.3 技術標準（Technical Specification）

2.4 業務標準（BRS）

2.5 コア構成要素辞書（CCL）

2.6 XMLメッセージスキーマ（XML Schema）

2.7 ガイドライン（Guideline）

* 参照データモデルガイドライン
* コード管理ユーザーガイド
* メッセージ構築ガイドライン

2.8 EDIFACT辞書（EDIFACT Directory）

2.9 国連コード表（UNCL）

3. 標準の開発プロセス（ODP）

3.1 プロジェクト開始（Project Inception）

3.2 要件収集（Requirements Gathering）

3.3 原案策定（Draft Development）

3.4 公開評価（Public Review）

3.5 プロジェクト完了（Project Exit）

3.6 公開（Publication）

3.7 保守（Maintenance）

4. 技術仕様書（Technical Specification）

4.1 国連CEFACTモデリング手法（UMM）

4.2 コア構成要素技術仕様（CCTS）

4.3 コア構成要素UMLプロファイル（UML Profile for Core Component）

4.4 コア構成要素データ型カタログ（Core Components Data Type Catalogue）

4.5 コア構成要素業務文書構成法（CCBDA）

4.6 XMLメッセージ設計規則（NDR）

4.7 交換ヘッダー定義（XHE）

4.8 参照データモデル公開手続（Procedure for RDM Publication）

研修第2章　業界横断EDI仕様

1. 業界横断EDI仕様の策定と管理

1.1 業界横断EDI共通辞書

1.2 業界横断EDI参照メッセージ

1.3 領域メッセージ登録

1.4 国連CEFACT共通辞書メインテナンス要求

1. 業界横断EDIレジストリ

2.1 レジストリの構成

2.2 レジストリの利用

1. メッセージ設計ツール

3.1 メッセージ設計ツールの導入

3.2 業界横断辞書の選択

3.3 メッセージバリデーション

3.4 クラス図の作成

研修第3章ユーザー・メッセージ設計実習

1. メッセージ設計ツールの導入
2. メッセージのフレームワーク
3. 設計演習

3.1 メッセージ構築演習

3.2 データ連携演習（マッピング）

3.3 国連CEFACT共通辞書追加提案実習

研修第4章XMLメッセージ導入演習

1. 国連CEFACT標準メッセージ

1.1 NamespaceとImport

1.2 標準メッセージモジュール

2. ユーザー・メッセージ

2.1 NamespaceとImport

2.2 Root Schemaモジュール

2.3 コード表モジュール